『早稲田日本語教育実践研究』第４号 投稿募集中！！

早稲田大学日本語教育研究センター『早稲田日本語教育実践研究』編集委員会では，第4号の記事を次のように募集します。奮ってご応募ください。

1. 募集する記事の種類

「論文」……日本語教育の向上に資する未発表のもの。
「インタビュー」……日本語教育に関するインタビューを紹介するもの。
「ショート・ノート」……日本語教育に関する新たな実践や教材などに関する構想・展望，教材紹介や書評，教材評，エッセイなど。
「実践紹介」……早稲田大学日本語教育研究センターの日本語科目の実践を紹介するもの。第4号のテーマは，2015年6月にホームページ上に発表する予定。テーマ外の投稿も可。

2. 執筆資格

投稿規程に定められた者。

3. 投稿の締切り

「論文」（年2回）	2015年4月1日，10月1日
「インタビュー」「ショート・ノート」「実践紹介」	2015年10月1日

4. 査読（コメント）

「論文」のみ「論文コメント規程」に従って査読（コメント）を実施します。1回目で「要修正」となった場合は，締切りまでに修正原稿を提出すれば，2回目が受けられます。

5. 発行の時期

2016年3月末

6. 原稿の作成と提出方法

日本語教育研究センターのホームページで最新の投稿規程と執筆要領をご確認のうえ，テンプレートを用いて原稿を作成し，Waseda-netポータルよりご提出ください。

問い合わせ先：早稲田大学日本語教育研究センター
『早稲田日本語教育実践研究』編集委員会
cjl-journal@list.waseda.jp

『早稲田日本語教育実践研究』求む！非常任コメンテーター

◆非常任コメンテーター募集

本誌では，投稿論文に対するコメントを通して論文執筆者と対話的に論文を構築する「非常任コメンテーター」を随時募集しております。

◆コメント・コメンテーターとは

本誌におけるコメントとは，コメンテーターがコメント行為をとおして，論文執筆者と対話的に論文を構築するプロセスです。したがって，コメンテーターには，論文を審査するのではなく，論文を執筆者とともに構築しようとする姿勢が求められる点において，一般的な査読とは異なることにご留意ください。

コメントは同一の投稿論文に対して二人のコメンテーターが行います。場合によっては，同一投稿論文に対し，2 回行っていただくことがあります。

◆非常任コメンテーターの登録と選出

応募の結果，非常任コメンテーターとして登録された方は，登録期間中（2 年），編集委員会の依頼に応じ，投稿論文に対するコメントを行っていただきます。投稿論文のコメンテーターは，編集委員会が投稿論文の分野に応じ，常任コメンテーター，非常任コメンテーターの中から選出します。論文は 4 月 1 日と 10 月 1 日の年に 2 回募集しており，コメント依頼からコメント提出まで，およそ1か月間を取っています。なお，コメンテーターのご都合等によって，編集委員会の依頼を断ることも可能です。

◆非常任コメンテーターへの応募

非常任コメンテーターには以下の方が応募できます。（1）早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師，（2）同常勤インストラクター，（3）同非常勤インストラクター，（4）同助手，（5）以前に早稲田大学日本語教育研究センターで日本語教育実践に携わっていた方。

応募は，『早稲田大学日本語教育実践研究』ホームページ（http://www.waseda.jp/cjl/cjlpublishprac.html）の応募フォームより，受け付けております。多くの方々のご応募をお待ちしております。

※詳しくは，「『早稲田日本語教育実践研究』論文コメント規程」をご参照ください。

◆問い合わせ先

早稲田大学日本語教育研究センター

『早稲田日本語教育実践研究』編集委員会

cjl-journal@list.waseda.jp